

(参考様式4)

事業所名 グループホーム黒部

目標達成計画

作成日：令和8年1月23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	現在、避難訓練等で短いスパンの対応の備えは日頃からされている。今後数ヶ月への長いスパンに対応できるような備えを行う必要がある	事業所外への避難や事業所の孤立が数ヶ月単位に及ぶことを想定し、そのような事態に対処ができるよう備えを充実させる	初期段階の避難訓練の実施。飲料水等の備品のに加えて被災後、数ヶ月単位の事業継続に備える為、職員の人員確保、備品の調達手段、外部機関等との連携の在り方を再検討する	6ヶ月
2	25	BCPに関して計画書は作成済みであるが、職員参加型の訓練の実施が不十分である	職員参加型の訓練を定期的に実施し、被災への備えを充実させる	最低でも1回／年は職員参加型の訓練を企画・実施し、不都合やBCP上において改善等の余地があれば、対処について再検討をおこなう	6ヶ月
3	23	過去に看取りのご希望があった利用者に対し看取りを行ったことが数回はあるが、過去数年間は看取りを希望されるケースがなく、現職員が終末期に対する知識や経験が十分とはいえない	職員が定期的に終末期・看取りに関する学びを得ることにより、適切な終末期ケアを行うことができる	事業所および法人単位の年間計画に、終末期・看取りに関する勉強会を取り入れ、職員の知識向上を図る	6ヶ月
4	20	新型コロナ感染症の蔓延防止に関わる自粛規制が数年間続いた影響にて、影響が生じる以前と比較し、事業所と地域との関わりが希薄になってしまった現状にある。また、現在における地域資源の把握についても不十分である	地域資源について行政や地域の方々と情報共有を行い地域資源の把握に努め、実際に活用できるものは活用させていただき利用者の生活の更なる充実を図りたい	運営推進会議などの機会に参加者間で情報共有を行う。また、地域の情報を行政や地域の会誌などにて収集する。また、自治会等の地域活動にも出来得る限り参加させていただき地域と利用者・職員との交流の拡充を図る	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。